



地方独立行政法人

佐賀県医療センター 好生館

SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN

SINCE 1834

理事長のごあいさつ



理事長:中川原 章
(なかがわら あきら)

新年のご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

幕末（天保5年）に、鍋島直正公により創設された私達の「好生館」は、今年183年目を迎えます。

本年が皆様にとって健やかな年となりますよう心より祈念いたします。

今年の干支は「酉」です。酉はにわとり（鶏）を意味し、鶏は武士が備えるべき5つの徳「知・信・仁・勇・厳」を持っているとのこと。酉年生まれの2017年の運勢は、「チャレンジによって道が拓ける年」だそうですが、この酉年生まれの職員にあやかって、今年の好生館は、チャレンジをすることで、新たな道を切り拓いていきたいと思えます。

好生館は、現在、着々と内部改革を進め、より一層県民に信頼され、そして、親しまれる地域の基幹病院となるよう努力しています。その方針は、病院に来られた患者さんを治すだけでなく、地域社会と密に連携し、より地域の皆さんの生活に密着した支援を行うことです。たとえば、在宅緩和ケアやホスピスにおける支援活動や、講演会・研修会等での啓発活動、県民公開講座、地域医療連携懇談会などを積極的に開催すると共に、昨年から地元と共催の「夏祭り」や、好生館の生みの親でもある鍋島直正公にちなみ、「第1回鍋島直正公記念好生館シンポジウム」も開催しました。

豊富な人材と健全な経営を通して、県民の命と健康を守り、さらには県民が生き甲斐を感じることのできる社会作りに貢献するため、今年も好生館はさらに飛躍していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成29年1月